

JIS

原油試験方法

JIS K 2601 : 1998

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 10 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 40.3.1 改正：平成 10.1.20

官 報 公 示：平成 10.1.20

原案作成協力者：石油連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 試験方法の種類	1
3. 密度試験方法	2
4. 蒸気圧試験方法	2
5. 動粘度試験方法	2
6. 流動点試験方法	2
7. 残留炭素分試験方法	2
8. 硫黄分試験方法	3
9. 窒素分試験方法	3
10. 灰分試験方法	3
11. 発熱量試験方法	3
12. 水分試験方法	3
13. 引火点試験方法	3
14. 水でい分試験方法	8
15. 塩分試験方法（滴定法）	13
16. 塩分試験方法（導電率法）	20
17. 原油常圧法蒸留試験方法	28
18. ワックス分試験方法	37
19. 硫化水素分試験方法	41
付表1 引用規格	49
附属書1 水でい分試験用水飽和トルエン調製方法	51
附属書2 水でい分試験用試料の均一化方法	53
参考 理論段数15段の精留塔を使用した蒸留試験方法	55
0. 序文	55
1. 適用範囲	58
2. 引用規格	58
3. 用語の定義	58
4. 試験方法の概要	60
5. 試料採取	60
6. 装置	61
7. 装置の準備	64
8. 試験の手順	64

	ページ
9. 計算	67
10. 試験報告書	68
参考附属書A	80
参考附属書B	90
参考附属書C	92
参考附属書D	93
参考附属書E	95
参考附属書F	96
参考附属書G	101
参考附属書H	102
参考附属書I	104
解説	107

原油試験方法

K 2601 : 1998

Testing methods for crude petroleum

序文 この規格は、1983年に第3版として発行されたISO 3680, Paints, varnishes, petroleum and related products—Flash/no flash test—Rapid equilibrium methodと、1990年に第1版として発行されたISO 9030, Crude petroleum—Determination of water and sediment—Centrifuge methodを基に、対応する部分については技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目〔密度試験方法、蒸気圧試験方法、動粘度試験方法、流動点試験方法、残留炭素分試験方法、硫黄分試験方法、窒素分試験方法、灰分試験方法、発熱量試験方法、水分試験方法、塩分試験方法（滴定法）、塩分試験方法（導電率法）、原油常圧法蒸留試験方法、ワックス分試験方法、硫化水素分試験方法〕を日本工業規格として追加している。

1. 適用範囲 この規格は、原油の試験方法について規定する。

なお、理論段数15段の精留塔を使用した蒸留試験方法を**参考**に示す。

備考1. この規格は、危険な試薬、操作及び装置を使うことがあるが、安全な使用方法をすべてにわたって規定しているわけではないので、この試験方法の使用者は使用に先立って、適切な安全上及び健康上の禁止事項を決めておかなければならない。

2. この規格の引用規格を、**付表1**に示す。

3. この規格の対応国際規格を、**表1**に示す。

4. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

表1 対応国際規格

試験方法	対応国際規格
引火点	ISO 3680 : 1983 Paints, varnishes, petroleum and related products— Flash/no flash test—Rapid equilibrium method
水でい分	ISO 9030 : 1990 Crude petroleum — Determination of water and sediment—Centrifuge method

2. 試験方法の種類 試験方法の種類は、**表2**のとおりとする。